

こどもの笑顔を真ん中に

令和8年度予算 未来へつなぐ ひとづくり まちづくり 予算



本市では、皆さんに納めていただいた税金を生かし、よりよい市民サービスを行うために、毎年予算を編成しています。今年度の予算のポイントや具体的な使い道をお知らせします。
(金額は端数処理している部分があります)



そもそも市の「予算」とは…?

市がどのような事業を行うか計画を立て、その年度(4月1日から翌年3月31日まで)の収入と支出の予定をひとまとめにしたものです。議会の議決を経て成立します。

今年の方針は? 令和8年度の編成方針

令和8年度当初予算では、中心市街地再開発プロジェクトなどの積極的な投資を行うほか、DXによる行政事務の効率化により、市民サービスの向上と職員の働き方改革を推進するなど、大胆な改革を進める方針としました。



予算額(総額)

3,273億6,471万円

前年度比

+135億3,981万円
(前年比+4.3%)

一般会計

1,522億3,000万円
(前年度比+4.8%)

教育・福祉など市の基本業務を行うための予算

特別会計など

958億1,800万円
(前年度比+3.5%)

国民健康保険など特定の目的に使う予算

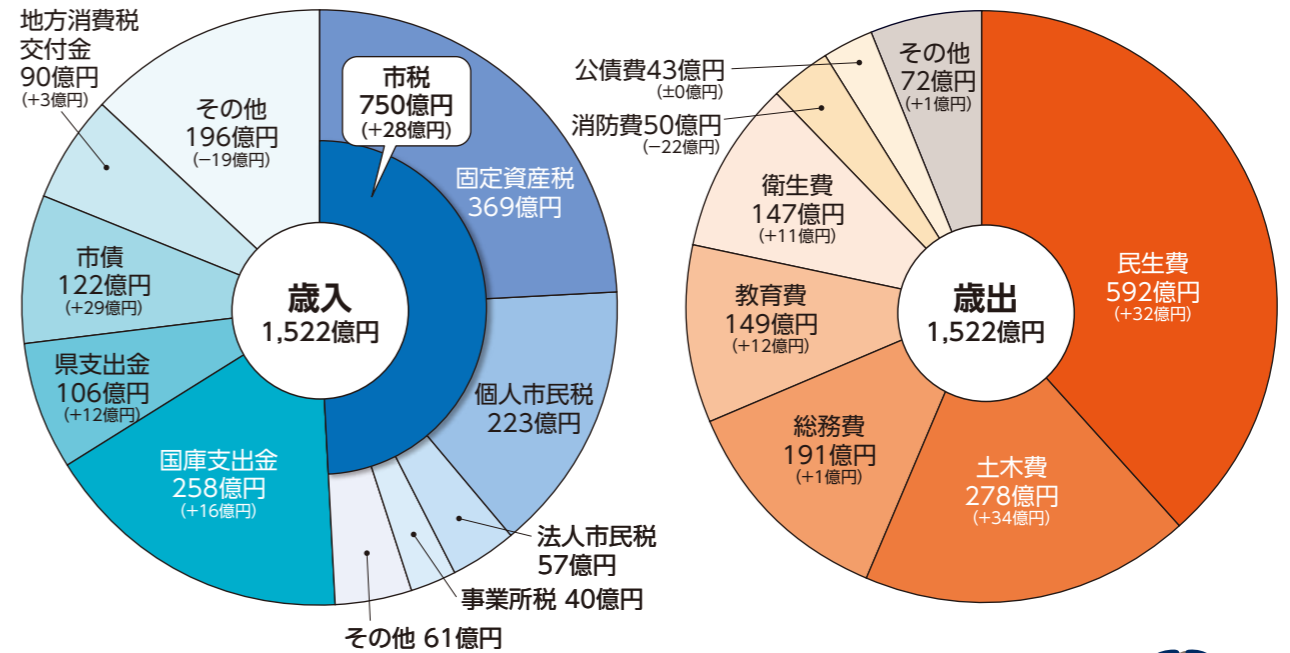
企業会計

793億1,671万円
(前年度比+4.5%)

病院・水道など市が事業を運営するための予算

何に使うの? 四日市市のお財布事情

令和8年度予算のうち、一般会計について詳しく紹介します。



市民1人当たりの予算に換算すると?

約50.0万円

※一般会計ベース
人口は令和8年3月末時点

1人当たりの金額だと身近に感じるね



民生費

約19.4万円

福祉や子育て支援の充実



土木費

約9.1万円

道路や公園、橋の整備



総務費

約6.3万円

防災、文化振興、スポーツ振興



教育費

約4.9万円

学校教育や博物館などの運営



衛生費

約4.8万円

検診や予防接種、ごみ処理など



消防費

約1.7万円

消防・救急活動



公債費

約1.4万円

市の借入金の返済



その他

約2.4万円

農林水産業・商工業の振興、市議会の運営など

今年度取り組む主な事業を紹介します

子育て・教育

夏休み児童預かり事業

(よっかいちサマーキッズ) **1,870万円**

保護者が就労などのため、夏休み期間に小学生の子どもを預けたいというニーズの受け皿として、児童の預かり事業を新たに実施します。



担当：こども未来課

新教育プログラム推進事業費

4億 1,304万円

本市独自の「新教育プログラム」に基づき、就学前から中学校卒業時まで育成すべき資質・能力の実現に向けた取り組みを進めます。

今年度は、民間プール施設を活用した水泳指導業務委託を小学校全37校に拡大します。



担当：教育推進課

待機児童の解消

[私立幼稚園一時預かり事業費補助金(幼稚園型Ⅱ)]

5,157万円

認可保育施設に入所できなかった2歳児の受け皿として、定期的な預かり保育を実施した私立幼稚園に対して、運営費の補助を行います。



担当：保育幼稚園課

部活動サポート事業

1億 8,906万円

休日の学校部活動は今年秋以降、地域指導者による地域クラブ「みんなのブカツ」に移行します。「みんなのブカツ」が持続可能な活動となるよう、環境を整備し、中学生のスポーツ、文化・芸術活動の充実を図ります。



担当：みんなのブカツ推進室

文化・スポーツ・観光



こどもみらいクーポン事業費 **4,600万円**

こどもたちが多様な体験プログラムに参加して得た「こどもみらいクーポン」を使って、優れた文化芸術やスポーツに触れることで、将来にわたって文化芸術やスポーツに親しむ風土をつくります。

担当：文化課

四日市ドーム整備事業費

1,690万円

四日市ドームの、利用者の安全性確保および利便性の向上に向けた改修工事を実施するため、業者選定に向けた準備を進めます。

担当：スポーツ課

プロスポーツチーム誘致事業費

260万円

プロスポーツチームの本拠地の誘致に向け、地域への波及効果を客観的に把握し、今後の誘致施策の検討や財政的支援の判断のための基礎資料とします。

担当：スポーツ課

環境・景観

スマートシティ構築促進補助金

1億 2,146万円

地球温暖化の原因となっている二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を削減するため、個人の住宅に設置する「創エネ」「蓄エネ」「省エネ」設備を対象とした補助を拡充し、導入を促進します。



担当：環境政策課

健康・福祉・医療

福祉防災関係経費

2,813万円

高齢者や障害者など、災害時に自ら避難することが困難または配慮を要する人を登録する「避難行動要支援者名簿」を整備します。また、在宅の重度要介護者などに対し、福祉専門職が、あらかじめ避難方針を定める「個別避難計画」の作成支援を行い、発災時に発災時に安否確認や避難支援をスムーズに行うことを目指します。

担当：福祉総務課

生活・居住

北大谷霊園合葬墓設置事業

520万円

身寄りや頼れる親族がいなくても、安心して自らが希望する最期を迎えるための終活支援の一環として、北大谷霊園内に合葬墓の設置工事を行います。

担当：生活環境課

産業・港湾

大学等拠点施設整備事業費

2億4,050万円

人口減少が進む中、企業の人材獲得が課題となっていることから、地域産業界で活躍できる人材の育成、研究などを通じたイノベーションにより、地域産業の持続的な発展を目指しJR四日市駅前への大学設置に向けて取り組みます。

今年度は、基本設計、用地測量、地質調査などを行います。



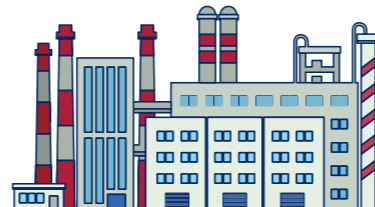
施設整備後のイメージ

担当：大学構想推進室

産業用地創出事業費

100万円

全国的に産業用地が不足する中、市内外の新たな産業用地需要に応えるため、本市における産業用地創出に関する方針を策定するとともに、用地整備などへの支援制度の創設などに取り組みます。



担当：工業振興課

防災・消防



防災倉庫備蓄品等整備事業

3,200万円

防災備蓄品管理システムを導入し、デジタル化により、業務効率化を図りつつ、備蓄品を適正に管理します。また、災害対策基本法改正に伴う備蓄状況の公表義務への対応を行います。

担当：危機管理課

防災システム整備事業費

3,007万円

大雨被害の早期把握と対応の迅速化を図るため、SNSを活用して被害状況を把握できるシステムを導入します。また、道路冠水などを検知する小型の浸水センサ（ワンコイン浸水センサ）の情報を市の安全安心防災メールと連動させ、浸水情報などを市民へ自動配信する仕組みを構築します。



担当：危機管理課

避難施設等整備事業

8,079万円

南海トラフ地震などの大規模災害の発生に備え、下水道本管が被災しても汚水を貯留できる「貯留式マンホールトイレ」の整備や既設受水槽などを活用した水の確保により、避難所機能の強化を図ります。

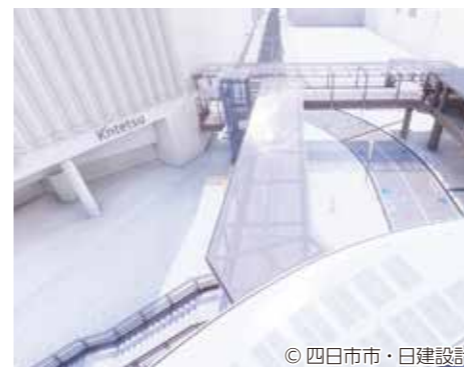


担当：危機管理課

交通・にぎわい

中央通り再編事業

52億5,062万円



©四日市市・日建設計
駅東直線デッキ イメージ

担当：市街地整備課



©四日市市・日建設計
中央通り公園 イメージ

近鉄四日市駅周辺では、円形デッキ「よんまるテラス」を経由して、近鉄とあすなろ鉄道、バスタや商店街を結ぶ歩行者デッキが今年度に完成します。国道1号東では、歩行者中心の「ニワミチ」を象徴する中央通り公園の整備を行っています。

知と交流の拠点施設整備事業費

3億510万円

知識や情報、人に出会える滞在型図書館を核とし、市民の創造・交流活動の場となり、多目的にも利用できる小規模ホール、カフェなどを組み合わせた、「知」と「交流」の拠点施設の整備を進めます。

今年度は、基本設計、地質調査などを行います。



担当：まちなか拠点創造課

都市公園整備事業費

4億7,660万円



©四日市市・日建設計
鶉の森公園 イメージ



©四日市市・日建設計
諏訪公園 イメージ

中央通り再編事業と連携を図り、中心市街地の魅力および回遊性を向上させるため、鶉の森公園および諏訪公園の再整備を進めます。

担当：公園緑政課

都市経営の土台・共通課題

市制施行130周年記念事業推進費

360万円

令和9年度の市制施行130周年に向けて、その節目を全市的に盛り上げ、市民や企業などのシビックプライドをさらに深める記念事業の企画を進めます。

担当：市制施行130周年記念事業推進室

総合コールセンター事業

(行政手続のデジタル化事業)

3,890万円

市役所によくある質問と回答（FAQ）を掲載した専用サイトと総合コールセンターを開設し、チャットボットとも連携することで市民がより迅速に問題を解決する手段を拡充し、利便性の向上を図ります。

担当：働き方改革推進室